

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

## 『誰か』のこと じゃない。



## 人権標語 皆さんのが感じたことの紹介

今回は1年生の感想を一部紹介していきます。

☆誰かに希望を与える内容や、思いやりを持ってほしい、本当の気持ちを知ってほしいというものが深く心に刺さった。自分が誰にも見せていない、伝えられない感情や思いを書いているようだった。周りに、「だめなのに」、とか、「よくないよね」とか思っていたことを伝えてくれている。誰かの、幸せ、権利、人生を踏みにじることは、絶対にあってはならないことだし、無くしていきたい。自分でもできることがあると思うので、そういうことを行いやすい、伝えやすい環境を作っていきたい。

☆「あたりまえ」に見えるけど、それが出来ていない世の中が嫌だなと思いました。いろいろな人が考え方直す機会になってほしいと思いました。高齢者や外国人はいて当たり前で、日本に居ることを誇りに思いたい、と感じました。

☆9番、11番などを見て、自分も普段悪いと思っていなくても、相手にとっては嫌かも知れないということが分かったから、これから気を付けたいと思った。どんな人でも、一人一人にある人権は変わらないと思った。

☆アンチコメントを書いてる人（コメント欄）を見たけれど、なぜわざわざ書くのかがわからない。むかつくることもあるかもしれないけれど、自分の心にとどめていたほうがいいと思う。言われている人の気持ちを考えてほしい。言われたくてネットをやっているわけじゃないから、こう思っているけど、結局は自分も言ってしまうことがあるから気を付けていきたい。

☆女だから青色が好きなのはおかしいという差別を、小学1年生のときのクラスで聞いたことがあります。その時の自分は、何もできなくて見ているだけで、今思うととても悔しいです。自分が大人になったら、人権を大切にできる人になりたいなと思いました。

☆標語と自分の生活を重ねてみたら、自分もやっているかも？というもののや、共感するものがたくさんあった。相手の気持ちや立場になって、理性で物事を判断できるようになりたい。

☆こうして標語を見ていくと、自分も守っていないな、、、と思うことがあった。けど、この標語を見て、今までの自分を変えたいと、強く思った。

☆言葉の重みを感じたほうがいいかもしれない。「女だから」、「男だから」、は他の人が言っていても注意すべきだと思った。自分が楽しいだけではなく、友人も楽しく遊べているか振り返ろうと思う。

☆知らないうちに差別してしまっていたり、悪口を言うつもりがなかったとしても、聞く人からしたら悪口になってしまっていることもあるし、自分も知らずにやってしまっているかもしれないから、改めて気を付けていきたいと思った。

☆ひどいことをいう人にはなりたくないと思いました。

☆自分は結構人に嫌なことを言ったりしていたから、改めて、人の嫌なことを言わないようにする。

☆書いた本人がそう想っていたかはわからないけれど、同じような想いをしている人がいて安心した。ネット上のことも全ていつかは私達にかかわる事だから、他人ごとではなく過ごしたい。

☆自分はいじめをなくしていきます。

- ☆〇〇だから、〇〇なのに、ではなく、誰でも同じように接してあげることが大切だと再認識した。
- ☆「女性専用車両」があることで女性は守られているけれど、男性も女性からのセクハラもあるかもしれないのに、「男性専用車両」も作ってほしいと思った。世の中で「自由」と「平等」はきっと同時に作り出せないと家族ではなしていたけれど、自分の意識を少しかえることで、そこに1歩ずつちかづけるのではないかと思った。
- ☆まだSNSはやっていないけど、これからやるようになったら、人を傷つけないように言葉を選んでいきたいと思う。ポジティブな一言さえあれば、周囲も自分もよい気持ちになるということが分かった。私も人を元気にさせるような言葉をかけていこうと思う。
- ☆標語を見て、改めてみんな一人ひとりが、人としての権利を持っていて、生きていくためにはまずその環境から変えることから始めようっていう気持ちになりました。環境を変えるためには、差別をなくし、相手が嫌だと思うことをしないようにできたら、全員がすごしやすい社会になると思う。
- ☆同じことを考えている人がたくさんいるのに、なぜ人権はいまだに守られていないのか不思議。自分を含め、一人一人が少しでもなくそうとする努力が大切だと思った。一人でも守らない人がいると、何人かが流されるかもしれないから、自分を強くしようと思った。
- ☆自分の勝手な思い込みや偏見で物事を決めてしまう癖があるので、今回の標語を見て、「自分の考え方を変えなきゃいけないな」と気付かされました。
- ☆標語を見て、四中にはこれほどの作品を書ける人がたくさんいて感心した。自分の日常を振り返り、自分もやってしまっているものがあるので、気を付けていきたい。
- ☆「自分は差別なんか全くしていない！」と思っていたが、無自覚で差別をしていることが分かった。これからは、みな同じ人間であり、常に心を開いた状態で、どんな人とも仲良く接していくべきだった。みんなが本音を言えるような環境にするには、よくないことを指摘できる人がしていき、自信を持たせることが大事だと思う。
- ☆私は中学生なので、これから大人になる一人なのに、標語をみて、自分がとても無関心だったことに気が付きました。世界では今、多様性と言われているし、全ての人が困らずに過ごせるように活動している人はたくさんいるのだと思います。私もそんな一人になりたいと思います。
- ☆ネットで匿名だからと言って悪口を言っている人たちの軽い一言で、言われている人も、見ている人も悲しい気持ちになるということを改めて感じました。
- ☆少しの言葉でも人を不快にさせてしまうから、言葉づかいを気を付けようと思った。もし周りが嫌なことをされていたら、面と向かって注意したり、声をかけてみようと思った。
- ☆いろんな人権の課題があって、自分にも関係があるものだから、気を付けて考えて生活したいと思った。特に「レインボー 性別の色 無限大」の標語からは、男性、女性だけではなく、一人一人に色があって無限大なのが分かってよかったです。
- ☆生きたいと思えるような環境や、笑って過ごせる世の中を作るために、私もこの標語を大事にして生活したいと思った。ネットで、たった1つの言葉だけでも、あっという間に広がってしまうのは気を付けたいと思った。簡単に言えてしまう最近の世の中で、こういうストッパーは大切。
- ☆人権について深く考えたことはなかったけれど、これを機に差別などしないように気を配って行動しようと思った。
- ☆やっぱり無意識に性別や出身で少しばかり差別てしまっているんだなと思ったから、これからは人を決めつけないように、ちゃんと受け止められるように少しずつしていきたい。また、人権を守るには、相手のことを考えて発言したり、行動したりしなければいけないと再認識した。
- ☆言葉の暴力の重大さを改めて理解した。また、ネットの使い方についても、私もネットに悪口を上げている人（知り合い）を見たことがあるので、その書かれた人にバレるバレないではなく、まずその行為がおかしいと思うから、できる限りのやり方で注意していきたい。